

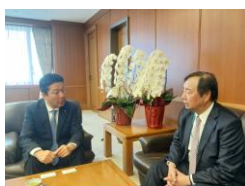
令和 6年12月「月報」

1 はじめに

11月11日、第2次石破内閣が発足し、中谷防衛大臣が再任されました。

13日には、防衛副大臣に本田太郎衆議院議員、防衛大臣政務官に金子容三（ようぞう）衆議院議員と小林一大（かずひろ）参議院議員が任命され、19日には防衛大臣補佐官に若宮健嗣氏が就任し、防衛省の新たな体制がスタートしました。

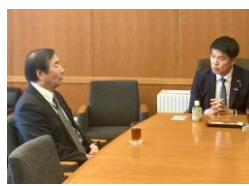
増田会長は11月22日から26日にかけて、本田副大臣、金子大臣政務官、小林大臣政務官、若宮大臣補佐官と相次いでお目にかかり、家族会の現状と防衛意識の普及高揚、自衛隊に対する協力（特に募集協力、家族支援協力）等の活動の説明、更には募集・採用・入隊から退職後を見通した隊員の処遇改善等について申し上げました。



本田副大臣



金子大臣政務官



小林大臣政務官



若宮大臣補佐官

また、それに先立つ11月20日には、各地域協議会や各県総会での討議／成果報告、定期総会、防衛講話出席時の意見交換等で寄せられたご意見要望を施策等に反映していただくべく、自由民主党国防部会「予算・税制等に関する政策懇談会」において、自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する提言を行いました。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 11月29日、輸送艦「にほんばれ」が進水しました。

「にほんばれ」は令和6年度末に海上自衛隊呉基地に新編される海上輸送部隊である「自衛隊海上輸送群（仮称）」に配備予定で、島嶼部などへ部隊を機動展開させる際に重要な役割を担うものです。

海上輸送群司令部は呉に置かれる予定であり、陸上自衛官が



→ 17 m ←



主体となって操艦・運用にあたること。

命名式の執行者は中部方面総監小林陸将が務め、

鬼木副大臣（当時）、森下陸上幕僚長、海上幕僚長が出席しました。

(2) 各地で自衛隊の活動を紹介

自衛隊各地方協力本部、各部隊は各地で「総合的な学習の時間」「職場体験」に協力して生徒を受け入れ、自衛隊に対する理解の促進を図っています。一部を紹介します。

ア 俱知安駐屯地／札幌地本：10月22日、23日の2日間、
岩内町立岩内第一中学校2年生の生徒4名。



ロープ訓練
被教育者：娘、教育者：父



非常用糧食喫食体験に
駐屯地に勤務する父登場



後日の職場体験発表会
(岩内第一中学校)

イ 函館駐屯地／函館地本：10月24日、31日の2日間、隊区内中学校



整備工場見学



背囊・・・重い・・・！



鑑識体験：指紋出るかな？

ウ 松本駐屯地／長野地本（茅野地域事務所）：10月31日、11月1日の2日間

諏訪市立諏訪西中学校2年生4名

戦闘靴の手入れ→

31日：松本駐屯地で迷彩服の着用体験、
背のうを背負っての重量体験、
戦闘靴の手入れ体験 等



1日：学校で救急法やロープワーク体験

←簡易ベッド作成

エ 八尾駐屯地／大阪地本（北東地区隊）：11月14日、15日の2日間

柏原市立国分中学校、八尾市立高美中学校、
同曙川南中学校、東大阪市立盾津中学校、
同小阪中学校、同玉川中学校の2年生31名



救急法



気象講座



整備工場見学



航空救難車放水展示

※ 大阪地本では11月までに65校を受け入れている由。

オ 島松駐屯地／札幌地本：9月から10月までの間に・・・
 合わせて14中学校、5高校、1大学 計145名



救急法



ロープ訓練



入札業務見学



足跡採取体験



防護マスク装着



パソコン整備

「自衛隊には様々な仕事がある」
 「自分に合う仕事が見つかる」という事が理解されて、募集につながりますように！！
 ※防衛省・自衛隊は文部科学省が推進する「総合的な学習の時間」を支援しています。

3 家族会の活動

(1) 令和6年度 地域協議会を開催

ア 近畿地域協議会：11月9日、大津市で近畿地域協議会を開催しました。

各府県会長等その他、本部からは乾運営委員が参加し、今年度の本部委託テーマである「会勢の維持拡大のための方策」と、「安否確認システム整備完了後の家族支援協力要領」の議論で、各府県から活発な意見をいただきました。



その後、海自舞鶴地方総監 伊藤海将の「海上防衛についての雑考」と題する講話を拝聴し、海上自衛隊になじみの少ない地域にあつて、大いに見識を深めることが出来ました。



ご支援くださった滋賀地方協力本部 吉田本部長以下の皆様に深謝いたします。

イ 四国地域協議会：11月18日、陸自松山駐屯地（松山市）で東北地域協議会を開催しました。

自衛隊家族会 四国地域



各県会長等その他、本部からは小和瀬四国地域担当委員、自衛隊側からは四国4県各地方協力本部長、中部方面総監部募集課企画監部、厚生課家族支援専門官等が出席し、担当県である愛媛県家族会の森川会長を議長として、本部委託テーマ「会勢の維持拡大のための方策」について活発な議論が交わされました。

議論を通じ、現役隊員のご家族の入会状況の把握が重要であり、そのうえで、部隊長等から所属隊員に家族会の重要性を説明していただきたいとお願いしました。また、賛助会員の拡大に取り組んでいる愛媛県家族会伊予市地区会長の体験談により、賛助会員の拡大が入会者増加の一助になると、各県の認識が一致したところです。

会議終了後、第14旅団長大場陸将補の「将来の陸上自衛隊の方向性と第14旅団の取り組み」と題する講話を拝聴し、また、旅団長他、松山駐屯地司令、陸自第110教育大隊長、陸自第14高射特科隊長、松山駐屯地業務隊長に松山駐屯地所属の四国4県出身隊員37名を加えた総勢94名の意見交換会は、郷里の話などで盛り上がり、隊員と家族会の絆を深めることが出来ました。

お世話いただいた中部方面総監部、第14旅団、松山駐屯地及び自衛隊愛知地方協力本部の皆様に深謝いたします。

(2) 隊員の激励：第7師団令和6年度長距離機動訓練

道央自衛隊家族会千歳支部、苫小牧支部は、11月6日から7日にかけて第7師団が実施した令和6年度長距離機動訓練（千歳市及び苫小牧市における公道自走を含む長距離機動訓練）を激励しました。この訓練は、機動運用される師団として、運用の実効性を向上させるとともに、公道自走の実施に係る関係部外機関との連携強化を図ることを目的としており、訓練には、第72戦車連隊、第73戦車連隊及び第7偵察隊を基幹とし、第11普通科連隊、第7特科連隊、第7高射特科連隊及び第7後方支援連隊から所要の部隊を配属して編成され、戦車、各種装甲車及び装輪車が参加しました。



赤いビブスの家族会員（東千歳駐屯地出発）



苫小牧の沿道で！

(3) 南極観測船「しらせ」入港を歓迎

10月13日、青森県自衛隊家族会及び青森市自衛隊家族会が、2005年9月の初代「しらせ」以来19年ぶりに青森港に入港した2代目「しらせ」の入港を歓迎しました。

青森県家族会女性部が、歓迎行事で、「ねぶた節」に合わせて流し踊りを披露し、乗員や大湊地方総監も、ねぶた囃子に合わせて一緒に跳ねました。



会員と共に跳ねる乗員



大湊地方総監

※「ねぶた」では「踊る」ことを「跳ねる」と言います。

(4) 募集協力

ア 11月3日、埼玉県家族会有志が2年ぶりとなる空自入間基地で開催された入間航空祭で、埼玉地方協力本部の広報ブースで、興味を示しそうな募集対象者をブースに案内したり、自衛隊の制服を試着して写真を撮る家族連れを手伝う等、地本の募集活動を側面からサポートしました。



イ



11月16日、17日の両日、兵庫県東播南西地区自衛隊家族会は「第41回かこがわ矯正展」(加古川刑務所内特設会場)にブース出展し、自衛隊の活動をアピールしました。

「かこがわ矯正展」は、音楽演奏やダンスパフォーマンスが楽しめるステージや、刑務所作業製品の展示・卸売やキッチンカーなど、一日中楽しめるコンテンツが集まるイベントです。

当日は大人から子供までたくさんの入場があり、大盛況で、同じく地方協力本部が開設したブースにも多くの来場があり、女性部が中心となって地本の募集活動、車両展示、制服撮影会、

ブースへのご案内などをお手伝いしました。

(5) 部隊研修

ア 由良基地研修

11月1日、西神戸地区自衛隊家族会が海上自衛隊由良基地(和歌山県)を研修しました。由良基地は海自呉地方隊阪神基地隷下の基地で、昭和27年に大阪航空路開隊本部由良基地として、由良湾の旧海軍紀伊防備隊跡地の一部を使用して発足し、由良基地分遣隊が置かれています。同分遣隊は紀伊水道周辺の補給基地として、また、神戸で建造される潜水艦の支援が主な任務とのことです。



由良基地の岸壁は独特で、旧海軍時代に使われていた杭状の栈橋の基礎部分がズラリと並んでいます。岸壁は水深が浅いため、潜水艦は沖に停泊して、小型船舶で支援するとのこと。また、南海地震発生時の和歌山県における災害派遣の拠点としても備えておられます。由良湾の奥になるため、若い隊員さんに尋ねたところ、

「車で15分程度で街まで行けますよ」と笑っておられました。



お忙しいなか時間を割いて見学をさせていただいた由良基地分遣隊の皆様、兵庫地本神戸出張所より同行頂きました所長、調整等を行って下さった広報官の皆様、そして研修旅行に参加して下さった会員の皆様へ、心より感謝を申し上げます。

イ 神町駐屯地研修

11月7日、宮城県泉区家族会31名が陸自神町駐屯地（山形県）を研修しました。研修では、駐屯地概要の説明受け、野外展示装備品及び駐屯地防衛館の見学、駐屯地食堂での体験喫食を行いました。

駐屯地の概要説明は、駐屯地業務隊長の野沢1佐から駐屯地及び近傍演習場の概要や歴史に関して丁寧な説明を受け、展示装備品見学では、普段は遠巻きに見ている装備品の大きさに驚き、実際に装備品に乗り込み装備品内部の様子を肌で感じました。駐屯地防衛館では、旧軍の歴史から現在の駐屯地所在部隊の活躍について説明を受け、駐屯地の長い歴史を知るとともに、展示されている特攻隊の方のご両親への最後の手紙を見て涙をぬぐう参加者の姿も見られました。そして、駐屯地食堂での体験喫食は、広い食堂で山形のおいしいお米を堪能しました。



ご支援くださった神町駐屯地広報班の皆様、有難うございました。

ウ 宮古島駐屯地、分屯基地研修 地本出張所訪問

11月13、14日の両日、沖縄県家族会は陸自宮古島駐屯地、空自宮古島分屯基地を研修し、沖縄地本宮古島出張所を訪問しました。

宮古島駐屯地では、宮古警備隊長兼ねて宮古島駐屯地司令の比嘉1陸佐から部隊の状況説明をしていただき、宮古警備隊、第7高射特科群、第2地对艦ミサイル中隊等の部隊が配置されて南西域の防衛任務を担っていることを理解しました。

その後、昨年4月に事故で殉職された前宮古警備隊長を含む10名の慰霊碑に合掌し、今後の無事故をお祈りしました。

隊員食堂で活気ある隊員の方々を拝見した後、空自宮古島分屯基地に移動し、第53警戒隊長兼ねて宮古島分屯基地司令の大久保2空佐から部隊の現況、隊員の方々の活動状況を伺い、翌日、沖縄地本宮古島出張所を訪問して所長の田村3陸佐から、令和5年度には、3校ある宮古島の高校から14名が入隊したとの説明を受け、広報官の熱意ある活動に一同感激して有意義な研修を終えました。

【エピソード（順不同）：AさんBさんは研修参加者です。】

- ① Aさんは元空自の教官で、第53警戒隊長は教え子だった！
- ② Bさんのご家族のお孫さんが出張所長からレスリングの指導を受けた！！
- ③ 古門会長・・・定年間近に部隊に配置されてきた隊員に再会！！
・・・出会って素晴らしい・・・

4 事務局からの連絡

(1) 「DW (ディフェンス・ワールド) 25」の購読申込案内

総合募集情報誌 DW 25 は、1 月末に完成予定です。

DW 25 では、**陸自：宇都宮駐屯地、海自：舞鶴基地、空自：小牧基地**を取材し、自衛隊員を目指す人や自衛隊を知りたい方に、最新の情報や写真を多く取り入れて、読み易く、かつわかり易く編集しています。是非、募集協力活動や会員拡大にご活用いただきたく、また地本をはじめとする関係の皆様へお勧めいただくよう、お願い申し上げます。

申込みは、別添の「ディフェンス・ワールド2025年版購読申込書」を使用してメール、または FAX 等でご連絡をお願い致します。

なお会員への販売価格は500円/冊、申込期限は、申込書記載の通りです。

(2) 令和7年度各県自衛隊家族会事業計画作成について

令和6年度第3回理事会(12月初旬書面決議)で「令和7年度自衛隊家族会事業計画(骨子)」を承認いただいた後、令和7年度各県自衛隊家族会事業計画の作成・報告について通知いたしますので、よろしくお願い致します。

(3) 各県入隊・入校等予定者激励会について

年が明けますと、早い県では1月末から入隊・入校等予定者激励会が始まります。細部の日程が決定しないところもあるかと思いますが、予定が立ちましたら家族会事務局(業務担当)までご連絡をお願い致します。

細部様式等につきましては別途連絡いたします。

(4) 北方領土返還要求運動全国大会の開催について

令和7年2月7日に東京虎ノ門の「ニッショーホール」で開催されます。

YouTubeにより大会の様子を全国配信する予定です。皆様のところでご覧いただけますので、細部決まり次第ご連絡いたします。

DW 25 表紙



以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長